



女子500m 大会新記録で優勝

好タイム。山田は浮かれずに「大会新はうれしいけれど、もっとプレッシャーの懸かる大きな大会でこれだけできるかが課題」と話した。

【男子】
▽500m ①飯島可奈子 1分19秒50(1回目)②伊藤川上 1分19秒50(2回目)③伊藤川上 1分19秒50(3回目)④伊藤川上 1分19秒50(4回目)⑤伊藤川上 1分19秒50(5回目)⑥伊藤川上 1分19秒50(6回目)⑦伊藤川上 1分19秒50(7回目)⑧伊藤川上 1分19秒50(8回目)⑨伊藤川上 1分19秒50(9回目)⑩伊藤川上 1分19秒50(10回目)⑪伊藤川上 1分19秒50(11回目)⑫伊藤川上 1分19秒50(12回目)⑬伊藤川上 1分19秒50(13回目)⑭伊藤川上 1分19秒50(14回目)⑮伊藤川上 1分19秒50(15回目)⑯伊藤川上 1分19秒50(16回目)⑰伊藤川上 1分19秒50(17回目)⑱伊藤川上 1分19秒50(18回目)⑲伊藤川上 1分19秒50(19回目)⑳伊藤川上 1分19秒50(20回目)㉑伊藤川上 1分19秒50(21回目)㉒伊藤川上 1分19秒50(22回目)㉓伊藤川上 1分19秒50(23回目)㉔伊藤川上 1分19秒50(24回目)㉕伊藤川上 1分19秒50(25回目)㉖伊藤川上 1分19秒50(26回目)㉗伊藤川上 1分19秒50(27回目)㉘伊藤川上 1分19秒50(28回目)㉙伊藤川上 1分19秒50(29回目)㉚伊藤川上 1分19秒50(30回目)㉛伊藤川上 1分19秒50(31回目)㉜伊藤川上 1分19秒50(32回目)㉝伊藤川上 1分19秒50(33回目)㉞伊藤川上 1分19秒50(34回目)㉟伊藤川上 1分19秒50(35回目)㊱伊藤川上 1分19秒50(36回目)㊲伊藤川上 1分19秒50(37回目)㊳伊藤川上 1分19秒50(38回目)㊴伊藤川上 1分19秒50(39回目)㊵伊藤川上 1分19秒50(40回目)㊶伊藤川上 1分19秒50(41回目)㊷伊藤川上 1分19秒50(42回目)㊸伊藤川上 1分19秒50(43回目)㊹伊藤川上 1分19秒50(44回目)㊺伊藤川上 1分19秒50(45回目)㊻伊藤川上 1分19秒50(46回目)㊼伊藤川上 1分19秒50(47回目)㊽伊藤川上 1分19秒50(48回目)㊾伊藤川上 1分19秒50(49回目)㊿伊藤川上 1分19秒50(50回目)

長野日大 4強ならず 男子



男子の長野日大が初の全国8強を達成。総合力の高い峯村主将を軸にしたチームの歩みが結果した。その3回戦はレシーブの安定した開智に第1セットを奪われながら、続く2セットを取り返す展開。峯村主将は「第2セットから相手にしっかりと対応できた」と勝因を挙げた。

全国8強 エース軸に一丸

年下の高沢ら有望選手も入学し戦力は整った。「峯村」雄大は練習用具の準備から率先してやっている「堀内」というエースの真摯(しんし)な姿勢がチームの士気を高め、昨年の全国高校総体、国体の序盤敗退を経て個々の選手もたくましくなっていた。

▽1500m ①飯島可奈子 2分12秒50(1回目)②伊藤川上 2分12秒50(2回目)③伊藤川上 2分12秒50(3回目)④伊藤川上 2分12秒50(4回目)⑤伊藤川上 2分12秒50(5回目)⑥伊藤川上 2分12秒50(6回目)⑦伊藤川上 2分12秒50(7回目)⑧伊藤川上 2分12秒50(8回目)⑨伊藤川上 2分12秒50(9回目)⑩伊藤川上 2分12秒50(10回目)⑪伊藤川上 2分12秒50(11回目)⑫伊藤川上 2分12秒50(12回目)⑬伊藤川上 2分12秒50(13回目)⑭伊藤川上 2分12秒50(14回目)⑮伊藤川上 2分12秒50(15回目)⑯伊藤川上 2分12秒50(16回目)⑰伊藤川上 2分12秒50(17回目)⑱伊藤川上 2分12秒50(18回目)⑲伊藤川上 2分12秒50(19回目)⑳伊藤川上 2分12秒50(20回目)㉑伊藤川上 2分12秒50(21回目)㉒伊藤川上 2分12秒50(22回目)㉓伊藤川上 2分12秒50(23回目)㉔伊藤川上 2分12秒50(24回目)㉕伊藤川上 2分12秒50(25回目)㉖伊藤川上 2分12秒50(26回目)㉗伊藤川上 2分12秒50(27回目)㉘伊藤川上 2分12秒50(28回目)㉙伊藤川上 2分12秒50(29回目)㉚伊藤川上 2分12秒50(30回目)㉛伊藤川上 2分12秒50(31回目)㉜伊藤川上 2分12秒50(32回目)㉝伊藤川上 2分12秒50(33回目)㉞伊藤川上 2分12秒50(34回目)㉟伊藤川上 2分12秒50(35回目)㊱伊藤川上 2分12秒50(36回目)㊲伊藤川上 2分12秒50(37回目)㊳伊藤川上 2分12秒50(38回目)㊴伊藤川上 2分12秒50(39回目)㊵伊藤川上 2分12秒50(40回目)㊶伊藤川上 2分12秒50(41回目)㊷伊藤川上 2分12秒50(42回目)㊸伊藤川上 2分12秒50(43回目)㊹伊藤川上 2分12秒50(44回目)㊺伊藤川上 2分12秒50(45回目)㊻伊藤川上 2分12秒50(46回目)㊼伊藤川上 2分12秒50(47回目)㊽伊藤川上 2分12秒50(48回目)㊾伊藤川上 2分12秒50(49回目)㊿伊藤川上 2分12秒50(50回目)



都市大塩尻 文京学院大女

都市大塩尻 16強止まり

女子の都市大塩尻は3回戦で敗れたが、創部4年目で過去最高のベスト16。初出場の昨年は初戦敗退だっただけに、松尾主将は「1回戦の壁を越えられたことが大きかった。日本一は取れなかったけれど、勝つ喜びを味わえた」とステップアップの実感を口にした。

女子 悔しさ残る逆転負け

先発選手で3年生は松尾主将センター小宮山の2人だけ。1、2年生にとって、この日は悔しさの残る逆転負けとなった。レフト高相は「1セット目のままの勢いで行ければ良かったが、16強になるとそんなにうまくいかない。勝てる試合を落としたい」と話した。

重圧
7日に23歳になる若き王者シュリーレンツァウアーは高まる重圧を最後の最後までスリル満点で緊張感があった」と楽しむ余裕さがあった。1回目で首位。逃げ切りを狙う2回目、総合優勝を争うヤコブセンに139分の大飛躍を披露された。勝利へのハードルは一気に上がり、地元オーストリアの大観衆は、一瞬静まり返った。それでも「普段のメンタルトレーニングで特別な状況は練習してきた」と過度な緊張や硬さはなかったという。しっかりと距離を伸ばした。2回の飛距離合計を同じにした。着地などで高い飛型を得てヤコブセンに2・3点競り勝ち、挑戦に意欲をかき立てた。

J1鹿島 監督にセレーゾ氏

J1鹿島は7日、元ブラジル代表のトニーニョ・セレーゾ氏(57)を監督に就任すると発表した。2000-05年に鹿島の監督を務めており、8年ぶりの復帰となる。同氏は選手時代に2度のワールドカップ(W杯)に出場。鹿島の監督としては00年にリーグ戦、ヤマザキナビスコカップ、天皇杯全日本選手権を制し、Jリーグ史上初の「3冠」を達成した。同氏はクラブを通じて「家族が集う」が家に帰るような感覚と、新たな挑戦に向けた奮闘を同時にサポートするつもりだと話した。

世界ノルディック 距離代表に成瀬

全日本スキー連盟の佐藤志郎距離部長は7日、2月開幕の世界選手権について、昨年12月のワールドカップ(W杯)で5位に入ると選手基準を満たした女子の石田正子(1000)を代表に成瀬ら3人を送り出した。成瀬は2000年、2004年、2008年の世界選手権で2回優勝し、2010年の世界選手権で3回優勝した。石田正子は2000年の世界選手権で2回優勝し、2004年の世界選手権で3回優勝した。

悔いが残る

竹内折の話。ことしのジャンプ週間悔いが残る。目標は世界選手権なので、そこまで良くなれば良い。そんなに焦りは無い。整えられなかった。伊東大貴の話。昨季に恥じないような成績を残したかったけど、しっかりと整えられなかった。そこは反省して、残りのシーズンにつなげたい。

船山・多々良と 契約更新を発表

松本山雅は7日、元J2松本山雅FCは7日、2012年シーズンでチーム得点王のFW船山貴之(25)と全42試合フル出場を果たしたDF多々良(25)の契約更新を発表した。

田中賢が JFLのAFC セイロは7日、賢治(29)が同FC琉球(沖縄)で全試合フル出場。セッターで計3得点もマークした。(上田市)に田中賢は、J



スキ場